

令和 2 年第 7 回横手市議会 1 2 月定例会 一 般 質 問 要 旨

■ 一般質問の日程

令和 2 年 1 2 月 7 日（月）～ 9 日（水） 本 会 議

※午前 10 時、開会の予定です。

■ 一般質問の順序

期日	順番	議席番号	議 員 名	質問区分	頁
7 日	1	13 番	菅 原 正 志 議 員	一 括	1
	2	6 番	加 藤 勝 義 議 員	一問一答	2
	3	8 番	寿松木 孝 議 員	一問一答	4
	4	11 番	立 身 万 千 子 議 員	一 括	5
8 日	5	2 番	高 橋 和 樹 議 員	一問一答	7
	6	24 番	土 田 百 合 子 議 員	一 括	8
	7	1 番	本 間 利 博 議 員	一 括	10
	8	7 番	奥 山 豊 和 議 員	一 括	11
9 日	9	16 番	高 橋 聖 悟 議 員	一 括	12
	10	10 番	鈴 木 勝 雄 議 員	一 括	13
	11	5 番	青 山 豊 議 員	一 括	14

※質問区分の説明

- 一 括・・・「一括質問一括答弁方式」の質問方法で、議員が質問項目すべてを演壇で一括して質問し、その後、執行部（市長や教育長など）が演壇でその質問項目に対して一括して答弁を行います。再質問は、議員は質問席で行い、執行部は自席で答弁します。
- 一問一答・・・「一問一答方式」の質問方法で、議員は質問席から 1 つの質問項目ごとに質問し、執行部は自席から答弁を行います。

1. 【13番 菅原 正志 議員】（一括質問一括答弁）

1. まちづくり推進部の現状と課題について

- 1) 地区交流センターについて伺う

- 2) ふるさと納税について伺う

- 3) 市が所有する乗用草刈機の有効活用ならびに市有地に隣接する農地との関係について伺う

2. 教育委員会の課題について

- 1) 教育環境格差是正の取り組みについて伺う

- 2) 図書購入費減額下の中でどのような運営を考えているか伺う

3. にぎわいの創出について

- 1) 横手駅東口に建設予定の図書館のある公益施設の進捗状況について

- 2) 株式会社プレステージ・インターナショナルのバスケットボールチームが来季からWリーグ参加を表明した。チームの拠点として手を挙げられないか。また、支援体制をどう考えているのか伺う

2. 【6番 加藤 勝義 議員】（一問一答）

1. 以前に一般質問した案件と、その関連事案について

1) SDG s について

①昨年 12 月の定例会で、SDG s を横手市での後期の総合計画に織り込み、体系化する必要性を提案した。市としてどのような取り込みが可能か検討するとしていたが、先般の Y 8 サミットに於いて、後期計画に SDG s のターゲットを織り込むとした答弁があった。今後、横手市として SDG s をどのような位置づけをして、市政に反映していくのか。

②SDG s の目標 4 に教育が位置付けられている。新学習指導要領の前文や総則に、「持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められる」と明記された。どのように SDG s を教育に結び付けていくのか伺う。

2) 災害情報伝達について

①昨年 12 月に、廃止する防災行政無線に対する不安や継続の声があることを質問した。今後対象地域には、職員が訪問し順次説明をしていくとしていた。それにもかかわらず、今年の議会報告会でも、防災行政無線の必要性や代替となる防災ラジオの全戸貸与と難聴地域の解消など、未だに多くの地域で意見や要望が出た。このことをどう捉えているか伺う。

②これまで何度も、防災行政無線の必要性を提案したが、デジタルに移行しないで廃止するとしている。情報通信技術が日々進化し低廉化している中で、280MHz 同報無線（ポケベル電波）を利用した市全域への防災行政無線設置を提案するが如何か。

3) 災害対策について

①今年 6 月定例会で、自然災害と新型コロナウイルス感染症が同時に起こる複合災害時の避難所密対策として、一人当たりのスペースを 4 m²に広げることを取組で、現在の避難所で可能だとする答弁があった。横手市地域防災計画の指定緊急避難場所・指定避難所一覧では、全施設とも面積割合一人 2 m²となっている。この計画は、平成 27

年4月に修正して以来改訂がなされていないが、対応を伺う。

②現在パブリックコメント実施中の、横手市国土強靱化地域計画（案）と、横手市地域防災計画の違いを伺う。

③地震災害対策について、事前に、ある程度予測可能で備えができる台風や豪雨と違い、地震は突然発生する。横手市地域防災計画や横手市国土強靱化地域計画（案）には、冬期の地震発生について、被害想定が記載されている。冬の深夜2時に、横手盆地真昼山地連動地震最大震度7が発生した際の被害は、建物全壊 27,405 棟、半壊 21,868 棟、死者 1,859 人、避難者 44,351 人となっている。これから降雪期になる横手市だが、コロナ禍における市民の冬季地震に対する意識向上が不可欠だ。所見を伺う。

3. 【8番 寿松木 孝 議員】（一問一答）

1. 温泉について

- ①6月議会での一般質問答弁で「温泉施設の返還の結果を踏まえ、改めて市民の皆様、議員の皆様と協議を重ねることで、市長としての責任を果たしたい」とされましたが、具体的にどのような行動をされたのか伺います。

- ②市営温泉施設の今後の方向性については「今後も民間シフト化を推進していきたい。新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、民間譲渡のできなかった施設の最終的な方向性を含め、時期を見て市民の皆様、議員の皆様と協議をしたい」との答弁がありましたが、その具体的な方向性について伺います。

4. 【11番 立身 万千子 議員】（一括質問一括答弁）

1. コロナ禍の下、市民を守るための市長の心構えを問う
「万全の感染防止対策が最強の経済対策」という日本医師会会長の言葉を受け、以下の質問をする。
 - 1) 第三波が到来しているコロナ禍の下、東京へ先日も出張していた市長は、高齢化率の高い横手市の市民に対し、どのように感染防止策をとっているか問う
 - 2) 医療機関と介護事業所においては、最低限職員のPCR検査を実施し、重症者の発生予防が必要と考えるがどうか
 - 3) 市出身学生への食料仕送り策、また、非正規や派遣労働者の休業支援金申請周知といった具体策を講じるべきと考えるがどうか
2. 「活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進」を実現する方策について問う
 - 1) 公の施設における「使用料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例」が制定されて一年が経過しようとしている。その運用にあたっては、市民の文化活動・自主活動において円滑に進んでいない場面が多く見られる。総合計画で市民の文化・芸術・自主的な社会貢献活動を広く支援することを明記している横手市として、使用料・利用料の減免取り扱いをきめ細かく配慮すべきと考えるがどうか
3. 安心して暮らすことのできるまちづくりの一つとして、災害時（緊急時）において要支援者を中心に地域でどう支えあうかについて問う
 - 1) 支援を必要としている市民について、先般の市民と議会の意見交換会や各地域の小ネットワーク等で問題提起がなされてきた。個人情報保護の重要性は理解するが、市の担当課と社会福祉協議会との連携をより強める必要があると痛感する。現状で

のシステムで十分と市長は考えているのか。さらに要支援者名簿の活用方法について市としてどう進める考えか問う

5. 【2番 高橋 和樹 議員】(一問一答)

1. 組織として進むべき方向性について

1) 令和2年度 秘書広報課の方針書から

①横手市のホームページリニューアルに向けた運用基準と運用体制整備の進捗状況について伺う。

2) 令和2年度 危機管理課の方針書から

①重点取組項目である情報発信方法の再構築の進捗状況について伺う。

②組織の抱える課題に、地域の「共助力」の底上げとあるが、横手市災害応援協定の現状と抱える課題について伺う。

3) 令和2年度 建設部の方針書から

①第3期横手市総合雪対策基本計画の策定に向け、継続している課題はあるのか伺う。

②市長の考える「克雪」「利雪」「親雪」とは何か伺う。

2. 廃校の備品について

1) 廃校になる学校の備品活用の計画はあるのか伺う

6. 【24番 土田 百合子 議員】（一括質問一括答弁）

1. 行政のデジタル化の推進について

1) オンライン診療とオンライン調剤の推進について

本県では医師数が秋田市に偏っている状況にあり、必要な医療を確保するためには、オンライン診療の推進等、新たな体制を構築することが必要と考える。オンライン診療は、医師がすべき仕事に専念しやすくなる一方で、これまで医師が対応していた業務を他者が対応する必要性が生じるなどの課題もある。この点については、音声認識によるレセプト作成をはじめ、看護師が担う准医師的な新たな役割の再定義や、国家資格の変更、医療従事者の役割の細分化等の対応をしていくことが求められる。同時に県民向け調査ではオンライン診療の推進とともに在宅等での処方箋の受け取りを望む声も多数寄せられている。必要最低限のオンライン診療について柔軟に検討を進めてほしいが当市の考えを伺う

2) 行政手続きにおける押印廃止と書面主義の見直しについて

内閣は、対面でのやり取りを必要としないデジタル社会への転換を進める中で、紙文書での提出や押印、対面を求めている全ての行政手続きにおいて、法令改正などを伴う規制改革実施計画を閣議決定した。押印廃止について、国の各省庁で行政手続文書の押印が廃止された場合、当市の行政手続文書においても押印廃止の判断が必要と考える。当市の行政手続きにおける「押印廃止」についての考え方を伺う。また、具体的に数字を明示できるのであれば、市民が行う手続きに関し押印が必要な書類はどのくらいあるのか

3) 今後、各種申請のオンライン化が加速すると思われるが、デジタル化を進める上でもっとも重要な課題は高齢者対策である。相談窓口などの設置の検討も必要である。新たな組織を立ち上げ取り組むべきであると考えますがどうか

2. 市税等のコンビニ納付導入について

- 1) この項の質問は、4回目となる。令和元年6月定例議会では、「横手市債権管理推進委員会における協議を進め、コンビニ、クレジットカード納付のメリットを確認しつつ慎重に判断する」との答弁であった。当市の窓口納付数は1万2千件を超え、取扱額は、3億5千万円に上る。コロナ禍での対面での取り扱いの事務負担は厳しいと感じる。県内他市においては、スマホアプリによる公共料金の納付を導入する動きも出てきている。当市の「市税等のコンビニ納付導入」についての考えを伺う。また、スマホアプリでの公共料金の納付についても伺う

3. 子育て支援について

- 1) 今年4月より、子育て支援課に「横手市子ども家庭総合支援拠点」が設置されており、子育て支援体制が強化されることに期待している。全国的には児童相談所の対応件数が毎年過去最多を更新しており、今年度はコロナ禍による家庭環境の変化等、影響が予想される。相談体制や人材の確保など当市の現状と取り組みについて伺う
- 2) 児童福祉司等の専門職の設置の考えを伺う
- 3) 子育て支援課の相談場所の改善が必要と考えるがどうか

7. 【1番 本間 利博 議員】（一括質問一括答弁）

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

1) 新型コロナウイルス感染症対策に係る横手市対策本部について

①体制について伺う。

②対処方針について伺う。

2) 新型コロナウイルスの感染が疑われる際の相談・受診・検査について

①高齢者や基礎疾患をお持ちの方の場合について伺う。

②無症状で感染が心配の方の場合について伺う。

3) 感染者への風評被害を防ぐための方策について伺う

4) 新型コロナウイルス対策費の活用について基本的な考えを伺う

8. 【7番 奥山 豊和 議員】（一括質問一括答弁）

1. 市民参画と協働による持続可能なまちづくりの推進について

- 1) 地区交流センター化の目的と理念、「自主運営」の考え方について
- 2) 「地区会議」の位置づけと、今後の方向性について
- 3) 市が考える公民館活動、生涯学習活動の意義について
- 4) 来年度から実施予定の「コミュニティスクール」の方向性と、地区交流センター事業における位置づけ、学校施設の地域開放について
- 5) 地区交流センター事業費・地域づくり活動補助金の現状と課題について
- 6) 公共施設再配置方針における地域の拠点施設整備方針について
- 7) 地域局の役割について

2. 身近な生活インフラの更新について

- 1) 修繕計画と総事業費の見込み、財源の確保について

9. 【16番 高橋 聖悟 議員】（一括質問一括答弁）

1. 横手市政もデジタルトランスフォーメーション（DX）を

1) 安心安全のまちづくりのDXについて

①災害時の避難行動支援にコミュニケーションアプリ「LINE」を活用してはどうか。

2) 市立図書館のDXについて

①市民サービスの向上やコロナ対策を教訓とした新常態の図書館づくりに電子図書館の導入を検討すべきではないか。

3) 企業誘致のDXについて

①若者の雇用のためにローカル5G環境を整え、サテライトオフィスの誘致をしてはどうか。

4) 情報発信のDXについて

①新たな市のPR戦略として「あつ森」を利活用してはどうか。

2. 学校教育でのタブレット端末の導入に関して伺う

1) コロナ問題を契機に学校現場におけるタブレット端末の役割は重要さを増している。コロナ後の新常態は想定しているか。新年度導入後の活用方法について伺う

10. 【10番 鈴木 勝雄 議員】（一括質問一括答弁）

1. 農業振興施策対策を問う

- 1) スマート農業について、当市の現状、今後の対応、対策等、市の考えを伺う
- 2) J Aとの園芸協定締結後、重点作物の拡大、継続に対する独自の支援対策助成について伺う
- 3) 水田利活用緊急対策事業の嵩上げ等について伺う
- 4) 研修終了後、新規就農者の育成、対応について伺う
- 5) 国のコロナ禍の中で、経営継続に関する取り組みに要する経費助成について伺う

11. 【5番 青山 豊 議員】（一括質問一括答弁）

1. インターンシップ促進支援事業について

- 1) 「横手市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の基本目標1：（横手に住む価値を持ち定住する若者が増えている）の具体的取り組みのひとつであるインターンシップ促進支援事業について、昨年度までの実績を踏まえた検証状況と今年度の進捗状況、そして総合戦略の第2期に入る来年度以降の方向性について伺う

2. インドネシア共和国との交流事業について

- 1) 横手市は東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン登録を契機にインドネシア共和国と各分野で交流を推進しているが、具体的にどのようなビジョンで進めていくのか今ひとつ見えてこない。以下の各交流事業についての現状と今後の方向性について伺う
 - ①スポーツ交流について
 - ②農業交流について
 - ③インバウンドを含む経済交流について

令和2年12月定例会日程予定【会期17日間】

- **本会議** 午前10時開会予定です・傍聴できます —
- ◇11月30日（月）〔開会〕議案上程 ほか
 - ◇12月 7日（月）一般質問
 - ◇12月 8日（火）一般質問
 - ◇12月 9日（水）一般質問
 - ◇12月16日（水）委員長報告・採決 ほか〔閉会〕
— 傍聴席は本庁舎7階です —
- **委員会** —
- ◇11月30日（月）一般会計予算特別委員会
 - ◇12月10日（木）～11日（金）
各常任委員会
一般会計予算特別委員会分科会
 - ◇12月16日（水）一般会計予算特別委員会

横手市議会

Q 検索

横手市議会のホームページでは、
本会議録画・会議記録・市議会だよりを
いつでもご覧いただけます。

◇ 横手市議会事務局 ◇

〒013-8601 横手市中央町8番2号（横手市役所 本庁舎 6階）

TEL：0182-32-2535 FAX：0182-32-6539

E-mail：gikai@city.yokote.lg.jp

横手市議会マスコットキャラクター

“しらとり議員”

